

第1回下関市市民協働参画審議会の概要について

1. 開催日時・場所

平成15年9月22日(月) 午後3時～ 市役所議会棟 第1委員会室

2. 出席者

委員 13名(欠席2名)

松尾文子委員、石川啓委員、小山清一委員、貞光博子委員、山田順子委員、高山剛委員、丸山久美子委員、田中クゲヨ委員、肥塚陽子委員、塩田万希世委員、宗近孝憲委員、田中隆子委員、吉武泰志委員

市 市長、市民部次長、市民活動課長、市民活動課長補佐、他職員2名

3. 議事概要

(1) 委嘱状交付式

①委嘱状交付

②市長挨拶

③委員自己紹介

(2) 第一回審議会

①会長、副会長選出

会長として石川啓委員、副会長として松尾文子委員が選出された。

②審議会への諮問(市長から)

下関市市民協働参画条例第17条第1項の規定に基づき、市民活動促進基本計画の策定並びに市民参画及び市民活動の状況の評価に関することについて審議会の意見を求めた。

③諮問事項にかかる説明

ア. 下関市市民協働参画条例について

事務局から説明をおこなった。

- ・ 下関市市民協働参画条例の策定の経緯及び内容について
- ・ 下関市市民協働参画条例施行規則について
- ・ 下関市市民協働参画審議会規則について

- ・ 下関市市民協働参画条例推進指針の策定について

イ. 下関市市民協働参画審議会について

事務局から説明をおこなった。

- ・ 下関市市民協働参画審議会の役割について
- ・ 下関市市民協働参画審議会への諮問の内容について

ウ. 下関市市民活動促進基本計画について

事務局から説明をおこなった。

- ・ 基本計画に関する市の考え方について
- ・ スケジュールについて

エ. 年次報告について

事務局から説明をおこなった。

- ・ 年次報告に関する市の考え方について
- ・ スケジュールについて

④今後の予定について

事務局から説明をおこなった。

- ・ 次回は 11 月を予定。

⑤会議の公開について

事務局から説明をおこなった。

「時期早尚」という意見もだされたが、最終的に公開をおこなうということで決定した。

第2回下関市市民協働参画審議会の概要について

1. 開催日時・場所

平成15年11月27日(木) 18:30～21:00 市役所議会棟 第1委員会室

2. 出席者

委員 13名(欠席2名)

石川啓委員、松尾文子委員、小山清一委員、貞光博子委員、高田昌幸委員、高山剛委員、丸山久美子委員、田中クゲヨ委員、肥塚陽子委員、塩田万希世委員、宗近孝憲委員、田中隆子委員、吉武泰志委員

市 市民部次長、市民活動課長、市民活動課長補佐、他職員2名

3. 議事概要

(1)調査実施の概要について

事務局から説明をおこなった。

①アンケートの目的

市民活動の現状と課題の把握

②調査の種類及び概要

ア. 市民意識調査

○目的・・・個人レベルの市民活動の現状と課題の把握

○調査項目・・・6項目

○対象者数・・・500名(無作為抽出による)、18歳以上

○実施時期・・・12月予定

○方法・・・アンケート用紙送付＝封書、回答＝返信用ハガキ

イ. 市民活動団体調査

○目的・・・団体レベルの市民活動の現状と課題の把握

○調査項目・・・10項目

○対象団体・・・現在本市が把握している団体

○実施時期・・・12月予定

○方 法・・・アンケート用紙送付・回収＝封書

(2) 市民意識調査のアンケート内容について

①「調査の表題」について

「市民協働参画市民意識調査」→「市民協働参画にかかわる調査のお願い」と変更。
以降も「市民意識調査」という言い方はしないこととした。

②「調査の趣旨」について

何の為に調査をするのかはっきりしないという意見が出され、次のような文言を挿入することとした。

「市民の皆様が市民活動の実態を把握させていただきたいと思います。」

もっと簡潔な言い回しの方がよい部分や平易な文の方がよいという意見があり、語句の修正をおこなった。

③「Q3」について

「した」と「したい」ことが混ざってしまうという指摘があり、回答欄を工夫することで把握できるようにした。

④「Q4」について

「成果があがらない」を選択肢に追加した。

⑤その他

大きな字で強調した方がよい部分、言い回しの部分で修正をおこなった。

(3) 市民活動団体調査のアンケート内容について

①「調査の趣旨」について

「市民意識調査」と同様に、「市民の皆様が市民活動の実態を把握させていただきたいと思います。」というような文言を挿入。

②「1-(3)-① 団体の規模」について

30人と300人でも区切ることにした。

「実際に活動をしている会員は何人ですか」という項目を追加。

③「1-(6) 組織形態」について

選択肢 1～3 は運営形態、選択肢4以降は組織形態であるので分離。

「事務吏員」→「事務職員」に変更。

④「2－(1) 活動場所」について

選択肢 15 と選択肢 16 の「会議室」→「施設」に変更。

⑤「5－(2) 行政との連携」について

選択肢の 2 と 3 を入れ替えることとした。

⑥その他

修正したものについては、会長と副会長で確認することとした。

(4) 今後の日程について

第1案として平成 16 年 2 月 18 日(水)に決定。

(5) その他

事務局:1 月 24 日に県の基本計画の策定にかかわられた安藤先生をお呼びして、講演会を開く予定にしている。審議会委員の皆様におかれましても、是非ともご出席いただきたい。

第3回下関市市民協働参画審議会の概要について

1. 開催日時・場所

平成16年2月18日(水) 18:30～21:00 勤労福祉会館 第4会議室

2. 出席者

委員 14名(欠席1名)

石川啓委員、松尾文子委員、小山清一委員、貞光博子委員、高田昌幸委員、高山剛委員、丸山久美子委員、田中クゲヨ委員、肥塚陽子委員、宗近孝憲委員、田中隆子委員、山田順子委員、中原博之委員、吉武泰志委員

市 市民部次長、市民活動課長、市民活動課長補佐、他職員2名

3. 議事概要

(1)調査結果の概要について

事務局から説明をおこなった。

①アンケートの目的

市民活動の現状と課題の把握

②調査の種類及び概要

ア. 市民意識調査

○対象者数・・・500名(無作為抽出による)、18歳以上

○回収数・・・162名(回収率32.4%) 内訳(有効159 無効3)

イ. 市民活動団体調査

○対象団体・・・市内の市民活動団体(160団体)

・下関市の各部署が把握している団体

・下関市を拠点として活動しているNPO法人(県の白書で確認)

・県民活動スーパーネット登録団体の中で下関市に連絡先のある団体

○回収数・・・101団体(回収率63%)

<以下、資料「アンケート調査結果概要」に沿って説明>

<結果概要に対する意見>

複数回答の集計において、円グラフより棒グラフとした方がよいものがあり、適切なグラフを再検討することとした。いろいろな活動を市民活動として一まとめにしているので、グラフ化するのに難しい面があるのではないか。

<感想>

JCや社会福祉協議会でまちづくりネットワークを作ったが、まちづくりの推進においては一般市民の希望としては少ないことがわかった。

平均年齢は思ったより低い。

ほぼ毎日活動している団体が思ったより多い。

子ども会は行き詰っていると聞いている。

1つ1つの設問を見てもわかりにくいのが、結論を先に言えば、「金が欲しい」が口は出して欲しく無いという印象を受けた。下関市の市民活動団体はまだ成熟しておらず、本当の問題点について直面していない等、意識が低いのではないか。

市民の市民活動をしたいという意味と団体の活動分野の乖離についてはよく考えるべきではないか。また、資金と人材不足も懸念される問題である。団体のPRをもっと行い、横のつながりを深めた方がよいと思われる。

<質疑等>

委員:1000人以上の団体や500万以上の活動資金を有する団体があるのが驚きだ。

委員:委託を受けると活動資金が一気に膨らむ。たとえば、昔、県から委託を700万円で受けたことがある。

事務局:資金については県と同じ傾向を示しています

委員:県との比較の状況は？

事務局:研究中です。

委員:思ったより市の施設は使われていないという印象を受けるが？

事務局:個別の施設を集計すると市の施設は約6割となり、かなり使用されています。

委員:その他の施設とは？

事務局:山、森、他市の公共施設という回答がありました。

会長:もっと市民の意識を高めるべきということも確かである。しかし、条例の認知度が低いことから、認知度を高めないといけない。認知していないものには参画できない。

(2)年次報告について

事務局から説明を行なった。

- ・年度末を待って調査を行い、集計を行いたい。
- ・項目については施行規則を基に作成する予定。

(3)今後の日程について

事務局から説明を行なった。

- ・年次報告の集計や議会の関係から5月頃を予定。

(4)その他

事務局:1月24日の講演会にご参加いただきありがとうございます。